

「第66回 小平南西部地域コミュニティ交通をみんなで考える会」の報告

- 開催日時：令和4年10月12日（水）14時～15時25分
- 出席人数：会場14人（欠席6人） 傍聴：4人

1 南西部地域の特性に即した新たな交通手段の研究

（1）前回の振り返りと確認

- ・運行車両：専用車（基本1台）
- ・運行時間：午前と午後に分けて運行、12時台に1時間の運休時間を設定
→効率的な運行のため、利用者が少ない時間帯を運休する。
- ・運賃：単一運賃（上限300円）
- ・実証実験運行：曜日を分けて2区域同時の実施を検討、運行期間は6カ月程を想定
→利用の定着を図るため、2区域同時に実施することで利用期間を長く設ける。（2区域分けて実施することで、運行期間が半分となる）

質疑

- ・実証実験運行は6カ月で、2区域同時に実施することは前回決まったのか。
→（公共交通課）まだ、決まっていないので、方法の一つとして具体的に考える会の中で検討していただきたい。
- ・運賃300円については、コミュニティタクシーの150円よりも高い設定になる理由の一つとして、コミュニティタクシーよりも乗降場所を自宅に近くに設定できることなどを分かりやすくPRすることが大切ではないか。
→（公共交通課）PRについては、分かりやすい方法で実施していく必要があると考えている。

（2）今回の検討内容

資料1の他市で実績のある方式をミックスした④案をベースに引き続き検討し、新たな⑤案として運行パターンを考えていく。

①公共交通課及び鷹の台団地小平自治会（岩井氏）からの事例説明

- なみえスマートモビリティについて（福島県浪江町で実証運行中）
- ・乗合のデマンド交通で、ワンボックス車（日産車）で運行している。
- ・浪江町は東西が10キロメートル程で、小平市と同じ位である。
- ・事前登録が必要で、スマートフォンや電話で予約する。
- ・現在、誰でも利用者登録ができ、無料で利用できる。
- ・リアルな目印のないバーチャル停留所が1,000カ所程、駅前など実在するデジタル停留所が7カ所ある。
- ・走行車と停留所を、スマートフォンアプリの地図上で確認することができる。

②乗降場所の候補地の検討（グループワーク）

- ・居住地付近のエリアごとに分かれて、地図上に候補地のシールを貼る。
- ・公共施設、公園、スーパーマーケット、店舗など、誰もが分かりやすい視点で、バランスを考慮して候補地にシールを貼る。
- ・行き止まりやカーブの途中、大きな交差点の近くは避けるように検討する。
→運行事業者の助言

2 その他

（1）参加団体からの情報提供

白梅北自治会から

11月27日（日）自治会臨時総会を開催

南西部地域の検討状況について、事務局からの説明を依頼

《今後の予定》

第67回 令和4年11月9日（水）14時から開催 ※場所 小川公民館 講座室

次回は、

- ・運行パターン④をベースに、乗降場所の候補地などについて、検討する。
- ・検討した乗降場所の候補地の他、実証実験運行の停留所を含め、全体のバランスを考慮しながら確認する。

（実証実験運行の停留所の地図への落とし込み作業は、公共交通課で行う）